

# 「佐賀県『食』と『農』の振興計画2019」 推進に向けた営農類型別の農業経営モデル

---

令和元年11月  
佐賀県農林水産部

1

## 「営農類型別の農業経営モデル」策定に当たって

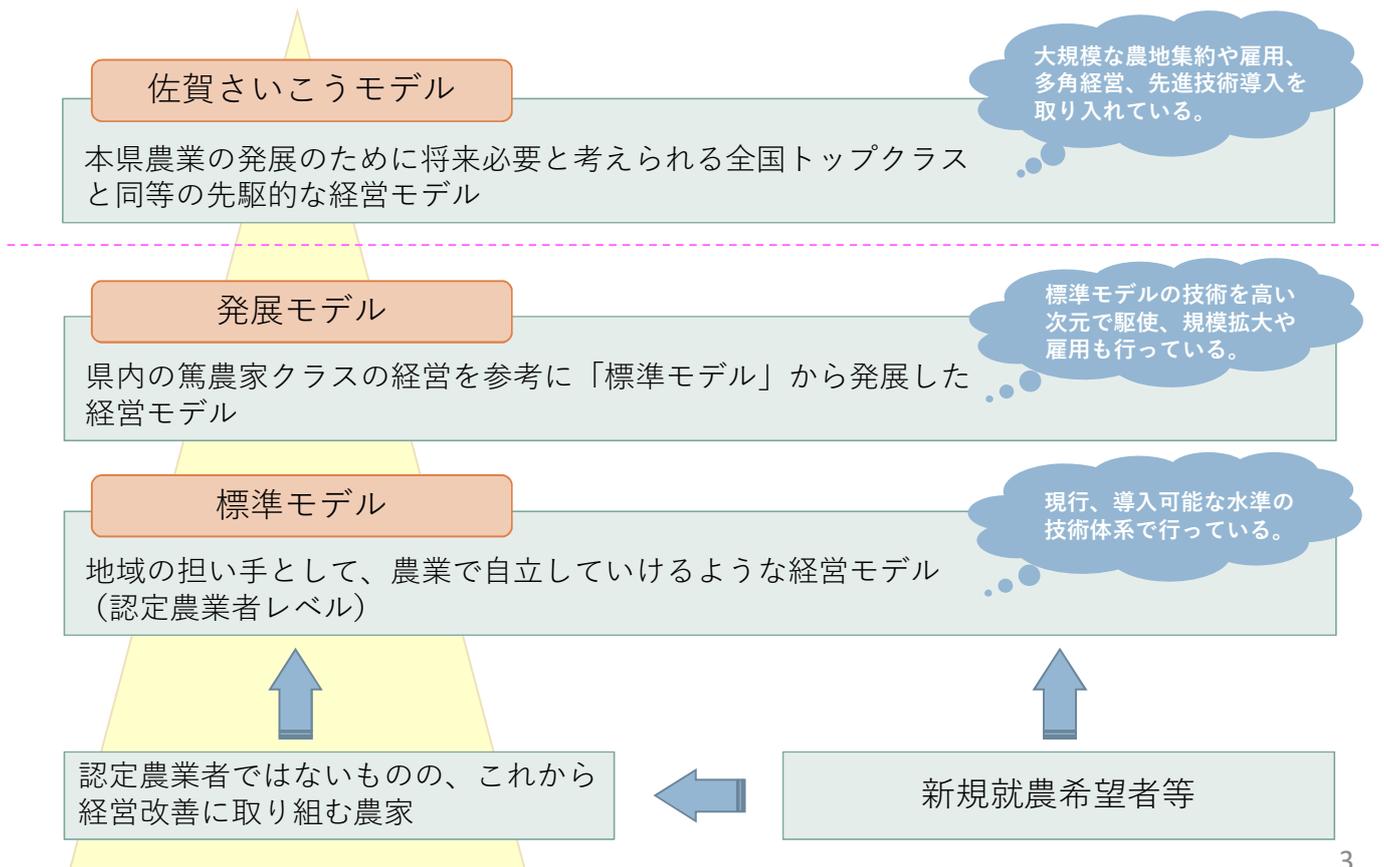
---

<基本的な考え方>

- 計画の目標実現に向けて、農業指導者等が経営改善に取り組む農家や新規就農希望者に対し、**具体的なイメージを持って**指導等が行えるよう、「営農類型別の農業経営モデル」を示す。
- その内容としては
  1. 経営改善に取り組む農家や新規就農希望者が、地域の担い手として農業で自立していけるような**認定農業者クラス**の「標準モデル」
  2. 努力次第で十分到達可能な、県内の**篤農家クラス**の経営を参考にした「発展モデル」
  3. 本県農業発展のために将来必要と考えられる、**全国トップクラス**と同等の先駆的な「佐賀さいこうモデル」を品目毎に提示する。
- この経営モデルは、状況の変化に応じて、随時、更新をしていくものとする。

2

## 各農業経営モデルの関係



3

## 農業経営モデルの前提条件

①目標年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 標準モデル 取組開始から4～5年後</li> <li>□ 発展モデル 標準モデルから4～5年後</li> <li>□ 佐賀さいこうモデル 発展モデルから10年後</li> </ul>
②所得目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 標準モデル 1経営体当たり550万円程度</li> <li>□ 発展モデル 1経営体当たり1,000万円超</li> <li>□ 佐賀さいこうモデル 1経営体当たり4,000万円超</li> </ul>
③労働時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 年間1人当たり2,000時間以内</li> </ul>
④経営形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 標準モデル 家族経営（2名+雇用）、集落営農法人</li> <li>□ 発展モデル 家族経営（2名+雇用）、法人経営（2名+雇用）、集落営農法人</li> <li>□ 佐賀さいこうモデル 法人経営（2名+雇用）、集落営農法人</li> </ul>

4

## 農業経営モデルの前提条件

⑤単収	過去5か年の平均単収を基に目標単収を設定。なお、「発展モデル」は県の共進会や共励会での上位レベル、「佐賀さいこうモデル」は先進技術等を組み合わせた可能性を踏まえたレベルとして設定
⑥農産物価格	J A の出荷データ等から試算
⑦借地代	10a当たり12,000円
⑧雇用労賃	<input type="checkbox"/> 常雇用 年間1人当たり400万円 <input type="checkbox"/> 臨時雇用 1時間当たり1,000円
⑨米麦大豆・飼料作物に係る所得	令和元年10月現在の国の経営所得安定対策等を加えて算定

5

## 農業経営モデル一覧（標準モデルと発展モデル）

営農類型	地域	経営モデル	標準	発展	頁
水田作	平坦部	米麦大豆+農作業受託	○	○	9
		米大豆+露地野菜（たまねぎ）	○	○	10
		米（麦）大豆+露地野菜（レタス）	○	○	11
		米麦大豆+露地野菜（たまねぎ、キャベツ）	○	○	12
		米麦大豆+露地野菜（たまねぎ、れんこん）	○	○	13
		米麦大豆+露地野菜（ブロッコリー、（レタス、キャベツ））	○	○	14
野菜作	全域	施設いちご	○	○	15
		施設きゅうり	○	○	16
		施設なす	○	○	17
		施設トマト	○	○	18
		こねぎ	○	○	19
	平坦部	アスパラガス	○	○	20
	中山間	ほうれんそう（+レタス）	○	○	21
		パセリ+レタス	○	○	22
果樹作	全域	露地みかん+中晩柑	○	○	23
		ハウスみかん	○	○	24
		ハウスみかん+中晩柑	○	○	25
		なし	○	—	26
		なし+ぶどう	○	—	27
		なし+もも	○	○	28

6

## 農業経営モデル一覧（標準モデルと発展モデル）

営農類型	地域	経営モデル	標準	発展	頁
畑作	全域	茶	○	—	29
		葉たばこ	○	—	29
花き作	全域	バラ	○	—	30
		キク	○	○	31
		トルコギキョウ	○	○	32
肉用牛経営	全域	繁殖	○	○	33
		肥育	○	○	34
		繁殖肥育一貫	○	○	35
酪農経営	全域	酪農	○	○	36
養豚経営		養豚一貫	○	○	37
農産加工	全域	施設いちご+いちご加工品	—	○	38
(参考) 集落営農法人	平坦部	米・麦・大豆（+露地野菜） 経営面積25ha規模	○	○	39
		米・麦・大豆（+露地野菜） 経営面積50ha規模	○	○	40
		米・麦・大豆（+露地野菜） 経営面積250ha規模	○	○	41
(参考) 中山間地域の農地維持	中山間	農作業受託組織（米+飼料用米）	○ （区分なし）		42

7

## 農業経営モデル一覧（佐賀さいこうモデル）

営農類型	地域	経営モデル	頁
水田作	平坦部	米・大豆+露地野菜（たまねぎ）	43
		米・麦・大豆+複数の露地野菜（たまねぎ、キャベツ）	44
園芸作	全域	施設いちご	45
		施設きゅうり	46
		施設トマト	47
	平坦部	アスパラガス	48
果樹作	全域	みかん（露地・ハウス）+中晩柑	49
花き作	全域	トルコギキョウ	50
肉用牛	全域	肉用牛繁殖	51
		肉用牛肥育	52
		肉用牛繁殖肥育一貫	53
(参考) 集落営農法人	平坦部	米・麦・大豆+露地野菜（たまねぎ、キャベツ）（耕地面積350ha規模）	54

8

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	水田作（米麦大豆＋農作業受託）	地域類型	平坦部
------	-----------------	------	-----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 810a （うち借入地 410a） 水稻うるち 421a 水稻もち 105a 大豆 284a 大麦 284a 小麦 526a 作業受託（収穫） 800a	<ul style="list-style-type: none"> <li>作物・品種毎の団地化による作業の効率化</li> <li>農地の面的集積による生産の効率化</li> <li>機械化一貫体系による省力・低コスト生産</li> <li>品種の組合せによる作期幅拡大</li> </ul>	トラクタ 35PS 1台 田植え機 5条 1台 コンバイン 3条刈 1台 乗用管理機 1台	5,556 粗収益 10,130 交付金 6,027 経営費 10,601	1,000時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 1,400a （うち借入地 1,100a） 水稻うるち 728a 水稻もち 182a 大豆 490a 大麦 420a 小麦 980a 作業受託（収穫） 1,000a	<ul style="list-style-type: none"> <li>作物・品種毎の団地化による作業の効率化</li> <li>農地の面的集積による生産の効率化</li> <li>大型機械化一貫体系による省力・低コスト生産</li> <li>品種の組合せによる作期幅拡大</li> <li>大豆不耕起播種や逆転ロータリ耕起同時播種など省力技術導入による安定生産</li> </ul>	トラクタ 45PS 1台 田植え機 6条 1台 コンバイン 4条刈 1台 乗用管理機 1台	10,188 粗収益 17,133 交付金 10,465 経営費 17,410	1,700時間

9

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	水田作（米大豆＋露地野菜（たまねぎ））	地域類型	平坦部
------	---------------------	------	-----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 300a （借入地なし） 水稻うるち 195a 大豆 89a たまねぎ 216a 苗床 16a	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の経営・品種毎の団地化による作業の効率化</li> <li>機械・施設の効率的利用による生産コストの低減</li> <li>余剰労力を活用した園芸作物の導入</li> <li>作物の作付ローテーションによる生産安定</li> <li>たまねぎの機械化一貫体系による省力化</li> <li>品種・作型の組合せによる労力分散</li> </ul>	トラクタ 25PS 1台 田植え機 4条 1台 コンバイン 2条刈 1台 半自動定植機 1台 乗用管理機 1台	5,664 粗収益 12,866 交付金 744 経営費 7,946	1,100時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 500a （うち借入地 200a） 水稻うるち 260a 水稻もち 65a 大豆 140a たまねぎ 400a 苗床 35a	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営・品種毎の団地化による作業の効率化</li> <li>機械・施設の効率的利用による生産コストの低減</li> <li>園芸作物導入による所得向上</li> <li>農業機械の共同利用による米麦、大豆の省力・低コスト生産</li> <li>作物の作付ローテーションによる生産安定</li> <li>たまねぎの鉄コンテナ機械化一貫体系による省力化</li> <li>品種・作型の組合せによる労力分散</li> </ul>	トラクタ 35PS 1台 田植え機 5条 1台 コンバイン 3条刈 1台 半自動定植機 1台 乗用管理機 1台	10,419 粗収益 23,369 交付金 1,171 経営費 14,121	1,700時間

10

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	水田作（米（麦）大豆＋露地野菜（レタス））	地域類型	平坦部
------	-----------------------	------	-----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 300a （借入地なし） 水稻うるち 195a 大豆 105a レタス 255a	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営・品種毎の団地化による作業の効率化</li> <li>機械・施設の効率的利用による生産コストの低減</li> <li>余剰労力を活用した個別部門での園芸作物の導入</li> <li>レタスの作型組合せによる労力分散と生産量確保</li> </ul>	トラクタ 35PS 1台 田植え機 5条 1台 コンバイン2条刈 1台 ベンチ育苗施設 1式 全自動定植機 1台	5,526 粗収益 14,939 交付金 878 経営費 10,291	2,000時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 臨時雇用 190時間 経営面積 1,000a （うち借入地700a） 水稻うるち 520a 水稻もち 130a 大豆 350a 大麦 200a 小麦 300a レタス 500a	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落内での農地の効率的利用</li> <li>経営・品種毎の団地化による作業の効率化</li> <li>機械・施設の効率的利用による生産コストの低減</li> <li>法人での園芸作物導入による組合員の所得向上</li> <li>レタスの作型組合せによる労力分散と生産量確保</li> </ul>	トラクタ 45PS 1台 田植え機 6条 1台 コンバイン4条刈 1台 乗用管理機 1台 ベンチ育苗施設 1式 全自動定植機 1台	9,957 粗収益 34,304 交付金 5,169 経営費 29,516	2,000時間

11

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	水田作（米麦大豆＋露地野菜（たまねぎ＋キャベツ））	地域類型	平坦部
------	---------------------------	------	-----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 350ha （うち借入地 50a） 水稻うるち 182a 水稻もち 45.5a 大豆 104.5a 大麦 105a たまねぎ 122.5a キャベツ 122.5a 苗床 18a	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営・品種毎の団地化による作業の効率化</li> <li>機械・施設の効率的利用による生産コストの低減</li> <li>余剰労力を活用した個別部門での園芸作物の導入</li> <li>作物の作付ローテーションによる生産安定</li> <li>露地野菜の機械化による省力化と規模拡大</li> <li>品種・作型の組合せによる労力分散</li> <li>契約栽培による経営の安定</li> </ul>	トラクタ 25PS 1台 田植え機 4条 1台 コンバイン2条刈 1台 半自動定植機 1台 たまねぎ 全自動定植機 1台 キャベツ 1台 乗用管理機 1台 ベンチ育苗施設 1式	5,699 粗収益 14,482 交付金 1,305 経営費 10,088	1,700時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 1,343時間 経営面積 600a （うち借入地 300a） 水稻うるち 312a 水稻もち 78a 大豆 182a 大麦 120a たまねぎ 390a キャベツ 90a 苗床 28a	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落内での農地の効率的利用</li> <li>経営・品種毎の団地化による作業の効率化</li> <li>機械・施設の効率的利用による生産コストの低減</li> <li>法人での園芸作物導入による組合員の所得向上</li> <li>作物の作付ローテーションによる生産安定</li> <li>たまねぎの鉄コンテナ機械化一貫体系による省力化</li> <li>品種・作型の組合せによる労力分散</li> <li>契約栽培による経営の安定</li> </ul>	トラクタ 35PS 1台 田植え機 5条 1台 コンバイン3条刈 1台 半自動定植機 1台 たまねぎ 全自動定植機 1台 キャベツ 1台 乗用管理機 1台 ベンチ育苗施設 1式	10,316 粗収益 27,980 交付金 2,014 経営費 19,678	2,000時間

12





## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	野菜作（施設なす）	地域類型	全域
------	-----------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 91時間 経営面積 28a (借入地なし) 施設なす 28a	<ul style="list-style-type: none"> <li>単為結果性品種導入によるホルモン作業の軽減</li> <li>肥培管理など基本技術の徹底</li> <li>多層被覆や循環線導入など省石油対策の実施</li> </ul>	耐候性ハウス トラクタ 15ps 28a 1台	5,597 [粗収益 17,024 経営費 11,427]	2,000時間
家族経営 2名 経営面積 19a (借入地なし) 施設なす (環境制御) 19a	<ul style="list-style-type: none"> <li>単為結果性品種導入によるホルモン作業の軽減</li> <li>肥培管理など基本技術の徹底</li> <li>光合成促進装置の効果的な使用による収量の向上</li> </ul>	硬質PFハウス 環境制御装置 トラクタ 15ps 19a 1式 1台	5,556 [粗収益 15,884 経営費 10,328]	1,700時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 2名 経営面積 68a (借入地なし) 施設なす 20a 施設なす (環境制御) 48a	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用を導入した経営規模の拡大</li> <li>ハウス内環境測定による環境の最適化</li> <li>統合環境制御技術の導入による飛躍的な収量向上</li> </ul>	耐候性ハウス 硬質PFハウス 環境制御装置 トラクタ 15ps 20a 48a 1式 2台	10,478 [粗収益 52,288 経営費 34,610]	2,000時間

17

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	野菜作（施設トマト）	地域類型	全域
------	------------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 2,000時間 経営面積 50a (借入地なし) 施設トマト (丸トマト) 50a	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐病性品種の導入による収量の向上</li> <li>肥培管理など基本技術の徹底</li> <li>多層被覆や循環線導入など省石油対策の実施</li> <li>光合成促進装置の効果的な使用による収量の向上</li> </ul>	耐候性ハウス トラクタ 15ps 50a 1台	5,697 [粗収益 30,000 経営費 24,303]	2,000時間
家族経営 2名 臨時雇用 500時間 経営面積 40a (借入地なし) 施設トマト (丸トマト) 25a 施設トマト (ミニトマト) 15a	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐病性品種の導入による収量の向上</li> <li>肥培管理など基本技術の徹底</li> <li>多層被覆や循環線導入など省石油対策の実施</li> <li>光合成促進装置の効果的な使用による収量の向上</li> </ul>	耐候性ハウス 普通ハウス トラクタ 15ps 25a 15a 2台	5,744 [粗収益 22,500 経営費 16,756]	2,000時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 2名 経営面積 60a (うち借入地20a) 施設トマト(丸トマ ト+環境制御) 60a	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用を導入した経営規模の拡大</li> <li>ハウス内環境測定による環境の最適化</li> <li>統合環境制御技術の導入による飛躍的な収量向上</li> </ul>	硬質PFハウス 環境制御装置 トラクタ 15ps 60a 1式 1台	10,581 [粗収益 60,000 経営費 49,419]	2,000時間

18

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	野菜作（こねぎ）	地域類型	全域
------	----------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 7,250時間 経営面積 90a (借入地なし)  こねぎ 90a	・ 播種期の組合せによる周年出荷体制	簡易パイプハウス トラクタ 15PS 90a 1台	5,543  粗収益 31,500 経営費 25,957	2,000時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 5名 経営面積 210a (うち借入地10a)  こねぎ 210a	・ 播種期の組合せによる周年出荷体制 ・ 雇用を導入した経営規模の拡大 ・ 共同作業所による調整作業の省力化	簡易パイプハウス トラクタ 15PS 210a 1台	10,420  粗収益 73,500 経営費 63,080	2,000時間

19

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	野菜作（アスパラガス）	地域類型	平坦部
------	-------------	------	-----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 36a (借入地なし)  アスパラガス 36a	・ 3.5t/10aどりのための栽培技術の徹底 ・ 保温・立茎時期の組み合わせによる労力分散	簡易パイプハウス 36a	5,518  粗収益 13,986 経営費 8,468	1,800時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 臨時雇用 1,300時間 経営面積 100a (借入地なし)  アスパラガス 100a	・ 3.5t/10aどりのための栽培技術の徹底 ・ 保温・立茎時期の組み合わせによる労力分散 ・ 雇用を導入した経営規模の拡大	簡易パイプハウス 100a	10,204  粗収益 38,850 経営費 28,646	2,000時間

20

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	野菜作（ほうれんそう（+レタス））	地域類型	中山間
------	-------------------	------	-----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 58a (借入地なし) ほうれんそう 58a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 播種期の組合せによる周年出荷体制</li> <li>・ 真空播種機、自動包装機の導入等による省力化</li> </ul>	簡易パイプハウス トラクタ 15PS 58a 1台	5,598 〔粗収益 16,443〕 〔経営費 10,845〕	1,300時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 1,612時間 経営面積 160a (借入地なし) ほうれんそう 120a レタス 40a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 播種期の組合せによる周年出荷体制</li> <li>・ 雇用を導入した経営規模の拡大</li> <li>・ 共同作業所による調整作業の省力化</li> </ul>	簡易パイプハウス トラクタ 15PS ベンチ育苗施設 半自動定植機 120a 1台 1式 1台	9,996 〔粗収益 35,920〕 〔経営費 25,924〕	2,000時間

21

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	野菜作（パセリ+レタス）	地域類型	中山間
------	--------------	------	-----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 2,085時間 経営面積 95a (借入地なし) パセリ 45a レタス 50a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高温期の寒冷紗被覆と冬期の保温対策による高品質安定生産</li> <li>・ 品種・作型の組合せによる労力分散</li> </ul>	簡易パイプハウス トラクタ 15PS ベンチ育苗施設 半自動定植機 45a 1台 1式 1台	5,401 〔粗収益 20,865〕 〔経営費 15,464〕	2,000時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 2名 臨時雇用 1,233時間 経営面積 200a (借入地なし) パセリ 110a レタス 90a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品種・作型の組合せによる労力分散</li> <li>・ 雇用を導入した経営規模の拡大</li> <li>・ 契約栽培による経営の安定</li> </ul>	簡易パイプハウス トラクタ 15PS ベンチ育苗施設 半自動定植機 110a 1台 1式 1台	9,937 〔粗収益 49,473〕 〔経営費 39,536〕	2,000時間

22

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	果樹作（露地みかん＋中晩柑）	地域類型	全域
------	----------------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 130a (借入地なし) 極早生みかん 20a 早生みかん 30a 普通みかん 65a 露地不知火 15a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・極早生、早生、普通、中晩柑を組み合わせた労力分散</li> <li>・マルチ栽培や根域制限栽培の導入によるブランド果生産</li> </ul>	選果機 1式	5,679 [粗収益 10,305 経営費 4,626]	1,700時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 臨時雇用 196時間 経営面積 340a (うち借入地40a) 極早生みかん 60a 早生みかん 100a 普通みかん 140a 露地不知火 40a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良園地の集積による経営規模拡大</li> <li>・根域制限栽培の導入面積拡大や高品質安定生産のための隔年交互結実栽培の導入</li> </ul>	選果機 1式	10,077 [粗収益 26,700 経営費 16,623]	2,000時間

23

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	果樹作（ハウスみかん）	地域類型	全域
------	-------------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 45a (借入地なし) ハウスみかん 45a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本管理の徹底と土づくりによる単収向上</li> <li>・加温時期の分散と温度管理の徹底</li> <li>・省エネルギー対策による生産コスト削減</li> </ul>	耐候性ハウス 選果機 45a 1式	5,466 [粗収益 22,500 経営費 17,034]	1,600時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 3,700時間 経営面積 110a (借入地なし) ハウスみかん 110a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫時期等の雇用労力の確保</li> <li>・遊休ハウスの活用による栽培面積の拡大</li> </ul>	耐候性ハウス 選果機 110a 1式	10,128 [粗収益 55,000 経営費 41,172]	2,000時間

24

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	果樹作（ハウスみかん＋中晩柑）	地域類型	全域
------	-----------------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 50a (借入地なし) ハウスみかん 35a ハウス不知火 15a	・ハウスみかんと中晩柑の組み合わせによる労力分散	耐候性ハウス 35a 普通ハウス 15a 選果機 1式	5,574 [粗収益 21,400 経営費 15,826]	1,400時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 2,194 経営面積 110a (借入地なし) ハウスみかん 80a ハウス不知火 30a	・遊休ハウスの活用等による経営面積の拡大	耐候性ハウス 80a 普通ハウス 30a 選果機 1式	10,889 [粗収益 47,800 経営費 26,911]	2,000時間

25

## 農業経営モデル（標準モデル）

営農類型	果樹作（なし）	地域類型	全域
------	---------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 93a (借入地なし) ハウスなし 20a トンネルなし 20a 露地なし 53a	・ハウス、トンネル、露地栽培を組み合わせた労力分散 ・計画的な改植による安定生産	普通ハウス 20a トンネルハウス 20a スピートスプレー 選果機 1台 1式	5,540 [粗収益 14,375 経営費 8,835]	1,800時間

26

## 農業経営モデル（標準モデル）

営農類型	果樹作（なし+ぶどう）	地域類型	全域
------	-------------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 100a (借入地なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土づくり等の基本管理の徹底</li> <li>・シャインマスカット等の新品種導入</li> </ul>	普通ハウス 20a	5,533 [粗収益 15,775 経営費 10,242]	1,900時間
ハウスなし 20a		トンネルハウス（なし） 20a		
トンネルなし 20a		トンネルハウス（ぶどう） 15a		
露地なし 45a		スピードスプレー 1台		
トンネルぶどう 15a		選果機 1式		

27

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	果樹作（なし+もも）	地域類型	全域
------	------------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 95a (借入地なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なしとももの組み合わせによる収穫時期の分散</li> <li>・遊休ハウス等の活用によるハウスももの導入</li> </ul>	普通ハウス 20a	5,528 [粗収益 15,175 経営費 9,647]	1,900時間
ハウスなし 20a		トンネルハウス 20a		
トンネルなし 20a		簡易パイプハウス 10a		
露地なし 45a		スピードスプレー 1台		
ハウスもも 10a		選果機 1式		

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 経営面積 220a (借入地なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョイント栽培等の省力化技術導入</li> <li>・雇用労力確保による経営面積の拡大</li> <li>・遊休ハウスの活用等によるハウスももの導入</li> </ul>	普通ハウス 50a	10,331 [粗収益 35,475 経営費 25,144]	2,000時間
ハウスなし 50a		トンネルハウス 50a		
トンネルなし 50a		簡易パイプハウス 20a		
露地なし 100a		スピードスプレー 1台		
ハウスもも 20a		選果機 1式		

28

## 農業経営モデル（標準モデル）

営農類型	畑作（茶、葉たばこ）	地域類型	全域
------	------------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 330a (借入地なし) 茶 330a	<ul style="list-style-type: none"> <li>被覆栽培の割合増加による高品質生産</li> <li>生産基盤の整備と機械化による省力化</li> <li>適期摘採と適正な加工技術</li> </ul>	茶加工場 1式 乗用防除機 1台 乗用摘採機 1台	5,506 粗収益 13,490 経営費 7,984	1,500時間

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 275a (うち借入地100a) 葉たばこ 275a	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同育苗による均質な苗の確保</li> <li>適正な栽培管理と適切な加工の実施による高品質生産</li> <li>適正規模の確保による経営の安定</li> </ul>	育苗施設 1式 幹刈機 1台 乾燥機 1式	5,542 粗収益 12,814 経営費 7,272	2,000時間

29

## 農業経営モデル（標準モデル）

営農類型	花き作（バラ）	地域類型	全域
------	---------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 4,125時間 経営面積 65a (借入地なし) バラ 65a	<ul style="list-style-type: none"> <li>統合環境制御温室の導入による施設管理の合理化</li> <li>需要動向に即した品種の導入</li> <li>生産安定・省力化のためのロックウール栽培導入</li> </ul>	硬質PFハウス 65a	5,556 粗収益 58,500 経営費 52,944	2,000時間

30

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	花き作（キク）	地域類型	全域
------	---------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 2,250時間 経営面積 50a (借入地なし) 電照キク 50a	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な電照と温度管理、土づくりの徹底</li> <li>直挿しや灌水同時施肥等による省力化</li> <li>自動選花機等省力機械の整備による低コスト・省力化</li> </ul>	普通ハウス 育苗施設 半自動定植機	50a 1式 1台  5,623  〔粗収益 24,500〕 〔経営費 18,877〕	2,000時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 2名 臨時雇用 1,800時間 経営面積 120a (借入地なし) 電照キク 120a	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用労力の確保による経営規模拡大</li> <li>耐候性ハウスの導入による周年安定生産</li> <li>周年出荷による市場からの信頼度向上</li> </ul>	普通ハウス 育苗施設 半自動定植機	120a 1式 1台  10,220  〔粗収益 58,800〕 〔経営費 48,580〕	2,000時間

31

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	花き作（トルコギキョウ）	地域類型	全域
------	--------------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 2,250時間 経営面積 19a (借入地なし) トルコギキョウ (2切) 19a	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要動向に即した品種の導入</li> <li>連作障害を軽減するための土壌消毒、土づくり</li> <li>整枝、摘蕾作業による高品質化</li> <li>電照、CO2施用等による開花調節、品質向上</li> <li>2番花の需要期に合わせた開花前進</li> </ul>	普通ハウス 育苗施設 半自動定植機	19a 1式 1台  5,568  〔粗収益 14,250〕 〔経営費 8,682〕	1,500時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 経営面積 55a (借入地なし) トルコギキョウ 55a	<ul style="list-style-type: none"> <li>常時雇用の導入による経営規模の拡大、安定</li> <li>周年化に向けた作型および他品目の導入</li> </ul>	普通ハウス 育苗施設 半自動定植機	55a 1式 1台  10,571  〔粗収益 36,075〕 〔経営費 25,504〕	2,000時間

32

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	肉用牛経営（繁殖）	地域類型	全域
------	-----------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営規模 繁殖牛 31頭 繁殖牛 31頭 稲わら収集 310a	<ul style="list-style-type: none"> <li>分娩間隔短縮による子牛生産率の向上</li> <li>ステージに応じた適切な飼養給与の実践</li> <li>飼養管理の徹底による事故率低減</li> </ul>	トラクタ 50PS 1台 フロントローダー 1台 マニユアスプレッダー 1台 レーキ 1台 ロールベラー 1台 ラッピングマシン 1台	5,558 粗収益 18,600 経営費 13,042	700時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営規模 繁殖牛 50頭 繁殖牛 50頭 稲わら収集 500a	<ul style="list-style-type: none"> <li>分娩間隔短縮による子牛生産率の向上</li> <li>ステージに応じた適切な飼養給与の実践</li> <li>飼養管理の徹底による事故率低減</li> <li>フリーバーン等を利用した省力管理</li> </ul>	トラクタ 50PS 1台 フロントローダー 1台 マニユアスプレッダー 1台 レーキ 1台 ロールベラー 1台 ラッピングマシン 1台	10,641 粗収益 30,000 経営費 19,359	1,100時間

33

## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	肉用牛経営（肥育）	地域類型	全域
------	-----------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 339時間 経営規模 肥育牛 135頭 肥育牛 135頭 稲わら収集 2,000a	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステージに応じた適切な飼養給与の実践</li> <li>飼養管理の徹底による事故率低減</li> <li>耕畜連携による稲わら等の確保</li> </ul>	トラクタ 50PS 1台 フロントローダー 1台 マニユアスプレッダー 1台 レーキ 1台 ロールベラー 1台 ラッピングマシン 1台	5,544 粗収益 162,000 経営費 156,456	2,000時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 経営規模 肥育牛 265頭 肥育牛 265頭 稲わら収集 2,700a	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステージに応じた適切な飼養給与の実践</li> <li>飼養管理の徹底による事故率低減</li> <li>耕畜連携による稲わら等の確保</li> <li>自動給餌機などの導入による省力化</li> </ul>	トラクタ 50PS 1台 フロントローダー 1台 マニユアスプレッダー 1台 レーキ 1台 ロールベラー 1台 ラッピングマシン 1台	10,550 粗収益 318,000 経営費 307,451	2,000時間

34



## 農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	養豚経営（養豚一貫）	地域類型	全域
------	------------	------	----

### <標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営規模 母豚 55頭 出荷豚数 1,120頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良系統種豚の計画的導入</li> <li>・人工授精技術等を利用した子豚生産率の向上</li> <li>・防疫対策の徹底による疾病予防、事故率の低減</li> <li>・エコフィード利用による低コスト生産</li> </ul>	フロントローダー 1台 マニュアルブレッダー 1台	5,682 〔粗収益 44,843〕 〔経営費 39,161〕	1,900時間

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 臨時雇用 110時間 経営規模 母豚 130頭 経営規模 母豚 130頭 出荷豚数 2,835頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良系統種豚の計画的導入</li> <li>・人工授精技術等を利用した子豚生産率の向上</li> <li>・防疫対策の徹底による疾病予防、事故率の低減</li> <li>・グループ管理システムの導入による作業の省力化、低コスト生産</li> </ul>	フロントローダー 1台 マニュアルブレッダー 1台	10,780 〔粗収益 105,992〕 〔経営費 95,212〕	2,000時間

37

## 農業経営モデル（発展モデル）

営農類型	農産加工（施設いちご+いちご加工品）	地域類型	全域
------	--------------------	------	----

### <発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 3名 経営面積 75a （借入地なし） 施設いちご (高設) 75a いちご加工品 -	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イチゴの生産安定が第一である。</li> <li>・イチゴのジャム加工で資産した。</li> <li>・加工時期を2～5月の単価が比較的下がる時期に設定した。</li> <li>・加工場は小屋等の改装で設定した。</li> </ul>	普通ハウス 75a 高設栽培施設 1式 ベンチ育苗施設 1式 農産加工作業小屋 1式 加工用機器 1式	11,235 〔粗収益 51,075〕 （うち農産加工 2,475） 〔経営費 39,840〕	2,000時間

38

(参考) 集落営農法人の農業経営モデル

営農類型	集落営農法人 米・麦・大豆 (+露地野菜)	経営面積25ha規模	地域類型	平坦部
------	--------------------------	------------	------	-----

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 集落営農法人 組合員 25名 経営面積 2,500a 水稻うるち 1,300a 水稻もち 325a 大豆 875a 大麦 1,250a 小麦 1,250a	<ul style="list-style-type: none"> <li>作物の作付ローテーションによる生産安定</li> <li>品種・作型の組合せによる労力分散</li> <li>機械・施設の効率的利用による生産コストの低減</li> </ul>	トラクタ 45PS 1台 35PS 1台 田植え機 6条乗用 1台 5条乗用 1台 コンバイン4条刈 1台	15,170 (粗収益 28,761 交付金 13,369 経営費 31,960) 組合員1名当たり 農業所得 607

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 集落営農法人 組合員 8名 常雇用 2名 経営面積 2,500a 水稻うるち 1,300a 水稻もち 325a 大豆 866a 大麦 750a 小麦 750a たまねぎ 125a 苗床 9a	<ul style="list-style-type: none"> <li>作物の作付ローテーションによる生産安定</li> <li>機械・施設の効率的利用による生産コストの低減</li> <li>たまねぎの機械化一貫体系による省力化</li> <li>品種・作型の組合せによる労力分散</li> <li>効率的な組織運営に向けた専従者(常雇用)の設定</li> </ul>	トラクタ 45PS 1台 35PS 1台 田植え機 6条乗用 1台 5条乗用 1台 コンバイン4条刈 1台 半自動定植機 1台 乗用管理機 1台	14,354 (粗収益 32,661 交付金 13,872 経営費 32,179) 組合員1名当たり 農業所得 1,795

(参考) 集落営農法人の農業経営モデル

営農類型	集落営農法人 米・麦・大豆 (+露地野菜)	経営面積50ha規模	地域類型	平坦部
------	--------------------------	------------	------	-----

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 集落営農法人 組合員 25名 経営面積 5,000a 水稻うるち 2,600a 水稻もち 650a 大豆 1,750a 大麦 2,500a 小麦 2,500a	<ul style="list-style-type: none"> <li>作物の作付ローテーションによる生産安定</li> <li>品種・作型の組合せによる労力分散</li> <li>機械・施設の効率的利用による生産コストの低減</li> </ul>	トラクタ 55PS 2台 45PS 1台 田植え機 8条乗用 1台 6条乗用 2台 コンバイン4条刈 2台	30,009 (粗収益 57,522 交付金 36,738 経営費 64,251) 組合員1名当たり 農業所得 1,201

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 集落営農法人 組合員 16名 常雇用 4名 経営面積 5,000a 水稻うるち 2,600a 水稻もち 650a 大豆 1,732a 大麦 1,500a 小麦 1,500a たまねぎ 250a 苗床 18a	<ul style="list-style-type: none"> <li>作物の作付ローテーションによる生産安定</li> <li>機械・施設の効率的利用による生産コストの低減</li> <li>たまねぎの機械化一貫体系による省力化</li> <li>品種・作型の組合せによる労力分散</li> <li>効率的な組織運営に向けた専従者(常雇用)の設定</li> </ul>	トラクタ 55PS 2台 45PS 1台 田植え機 8条乗用 1台 6条乗用 2台 コンバイン4条刈 2台 全自動定植機 1台 乗用管理機 1台	29,572 (粗収益 65,321 交付金 27,743 経営費 63,492) 組合員1名当たり 農業所得 1,849

(参考) 集落営農法人の農業経営モデル

営農類型	集落営農法人 米・麦・大豆 (+露地野菜) 経営面積250ha規模	地域類型	平坦部
------	--------------------------------------	------	-----

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 集落営農法人 組合員 125名 経営面積 25,000a 水稻うるち 13,000a 水稻もち 3,250a 大豆 8,750a 大麦 12,500a 小麦 12,500a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作物の作付ローテーションによる生産安定</li> <li>・品種・作型の組合せによる労力分散</li> <li>・機械・施設の効率的利用による生産コストの低減</li> <li>・大型機械化一貫体系による省力・低コスト生産</li> </ul>	トラクタ 75PS 9台 55PS 2台 田植え機 10条乗用 9台 コンバイン 6条刈 4台 5条刈 1台 大豆コンバイン 2.1m刈 4台 1.5m刈 1台	149,018 (粗収益 287,606 交付金 183,686 経営費 322,274) 組合員1名当たり 農業所得 1,192

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 集落営農法人 組合員 80名 経営面積 25,000a 常雇用 20名 水稻うるち 13,000a 水稻もち 3,250a 大豆 8,750a 大麦 7,500a 小麦 10,000a キャベツ 1,250a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作物の作付ローテーションによる生産安定</li> <li>・機械・施設の効率的利用による生産コストの低減</li> <li>・大型機械化一貫体系による省力・低コスト生産</li> <li>・露地野菜の機械化による省力化と規模拡大</li> <li>・品種・作型の組合せによる労力分散</li> <li>・契約栽培による経営の安定</li> <li>・効率的な組織運営に向けた専従者(常雇用)の設定</li> </ul>	トラクタ 75PS 9台 55PS 2台 田植え機 10条乗用 9台 コンバイン 6条刈 4台 5条刈 1台 大豆コンバイン 2.1m刈 4台 1.5m刈 1台 育苗施設 1式 半自動植機 1台	155,500 (粗収益 327,144 交付金 151,316 経営費 322,960) 組合員1名当たり 農業所得 1,944 41

(参考) 中山間地域において農地維持に取り組む経営モデル

営農類型	農作業受託組織(米+飼料作物)	地域類型	中山間地
------	-----------------	------	------

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 農作業受託組織 経営面積 2,000a 作業受託(耕起) 1,300a 作業受託(田植) 1,300a 作業受託(収穫) 1,300a 飼料用米 700a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹作業の作業受託による米作の効率的生産</li> <li>・飼料用米の生産～販売までの一括受託による受託組織の経営安定</li> <li>・土地の所有者による米作の管理作業の実施による高品質生産</li> </ul>	トラクタ 25PS 4台 20PS 1台 田植え機 5条乗用 2台 4条乗用 2台 コンバイン 3条刈 1台 2条刈 2台	3,359 (粗収益 5,980 交付金 5,600 経営費 8,221)

作業単価 (円/10a)	耕起	田植	収穫
	18,000	10,000	18,000

## 農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	水田作（米大豆＋露地野菜（たまねぎ））	地域類型	平坦部
モデルのポイント	米・麦・大豆と露地野菜を組み合わせた生産性の高い大規模水田農業経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 2名 臨時雇用 2,433時間 経営面積 1,700a （うち借入地1,400a） 水稲うるち 884a 水稲もち 221a 大豆 525a たまねぎ 1,700a 苗床 70a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の面的集積による生産の効率化</li> <li>・農業機械の共同利用による米麦、大豆の省力・低コスト生産</li> <li>・作物の作付ローテーションによる安定生産</li> <li>・たまねぎの鉄コンテナ機械化一貫体系による省力化大</li> <li>・年間労働配分を考えた作目、品種、作型の組合せ、作期幅の拡大</li> <li>・契約栽培による経営の安定</li> <li>・雇用労働力を活かした企業的労務管理の実施</li> </ul>	トラクタ 45PS 1台 田植え機 6条乗用 1台 コンバイン 4条刈 1台 乗用管理機 2台 半自動定植機 1台	41,940 粗収益 95,528 交付金 4,389 経営費 57,977	2,000時間

43

## 農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	水田作（米麦大豆＋複数の露地野菜（たまねぎ＋キャベツ））	地域類型	平坦部
モデルのポイント	米・麦・大豆と露地野菜を組み合わせた生産性の高い大規模水田農業経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 2名 臨時雇用 3,705時間 経営面積 1,900a （うち借入地1,600a） 水稲うるち 988a 水稲もち 247a 大豆 637a 小麦 285a たまねぎ 1,425a キャベツ 190a 苗床 28a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の面的集積による生産の効率化</li> <li>・農業機械の共同利用による米麦、大豆の省力・低コスト生産</li> <li>・作物の作付ローテーションによる安定生産</li> <li>・露地野菜の鉄コンテナ機械化一貫体系による省力化と規模拡大</li> <li>・年間労働配分を考えた作目、品種、作型の組合せ、作期幅の拡大</li> <li>・契約栽培による経営の安定</li> <li>・雇用労働力を活かした企業的労務管理の実施</li> </ul>	トラクタ 45PS 1台 35PS 1台 田植え機 6条乗用 1台 5条乗用 1台 コンバイン 4条刈 1台 育苗施設 1式 半自動定植機 たまねぎ 1台 全自動定植機 キャベツ 1台 乗用管理機 1台	42,409 粗収益 93,473 交付金 6,676 経営費 57,740	2,000時間

44

## 農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	野菜作（施設いちご）	地域類型	全域
モデルのポイント	統合環境制御技術と新品種「いちごさん」を組み合わせた生産性の高いいちご経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 8名 臨時雇用 235時間 経営面積 160a (借入地なし) 施設いちご (土耕+環境制御) 105a 施設いちご (高設+環境制御) 55a	<ul style="list-style-type: none"> <li>統合環境制御技術の導入による飛躍的な収量向上</li> <li>収量予測システムを活用した安定出荷体制の確立</li> <li>暖候期の下温対策や四季なりいちごの導入に いる収穫期間の延長</li> <li>育苗センターやパッケージセンター活用による作業の分業化</li> <li>積極的な雇用導入による規模拡大</li> </ul>	普通ハウス 105a 耐候性ハウス 55a 高設栽培施設 1式 環境制御装置 1式 トラクタ 15ps 1台 ベンチ育苗施設 1式	40,258 粗収益 121,536 経営費 81,278	2,000時間

45

## 農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	野菜作（施設きゅうり）	地域類型	全域
モデルのポイント	統合環境制御技術を活用した生産性の高い大規模きゅうり経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 18名 経営面積 360a (うち借入地160a) 施設きゅうり 110a 施設きゅうり (環境制御) 250a	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間労働配分を考慮した品種、作型、栽培方法の組み合わせ</li> <li>統合環境制御技術の導入による飛躍的な収量向上</li> <li>収量予測システムを活用した安定出荷体制の確立</li> <li>収穫ロボットを活用した収穫作業の軽減</li> <li>積極的な雇用導入による規模拡大</li> <li>匠の技の伝承システムの開発による雇用教育の整備</li> </ul>	耐候性ハウス 110a 硬質PFハウス 250a 環境制御装置 1式 トラクタ 15ps 2台	40,847 粗収益 353,920 経営費 313,073	2,000時間

46

## 農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	野菜作（施設トマト）	地域類型	全域
モデルのポイント	統合環境制御技術を活用した生産性の高い大規模トマト経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 11名 臨時雇用 2,400時間 経営面積 390a (うち借入地190a) 施設トマト (丸トマト、環境制御) 150a 施設トマト(丸トマト) 150a 施設トマト(ミニトマト) 90a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイワイヤー栽培に適した品種導入による収量確保</li> <li>・統合環境制御技術の導入による飛躍的な収量向上</li> <li>・収量予測システムを活用した安定出荷体制の確立</li> <li>・積極的な雇用導入による規模拡大</li> </ul>	硬質PFハウス 150a 耐候性ハウス 150a 普通ハウス 90a 環境制御装置 1式 トラクタ 15ps 3台	40,863 〔粗収益 285,000〕 〔経営費 244,137〕	2,000時間

47

## 農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	野菜作（アスパラガス）	地域類型	平坦部
モデルのポイント	アスパラガス専作の大規模経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 11名 経営面積 545a (うち借入地345a) アスパラガス 545a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3.5t/10aどりのための栽培技術の徹底</li> <li>・保温・立茎時期の組み合わせによる労力分散</li> <li>・雇用を導入した経営規模の拡大</li> </ul>	簡易パイプハウス 545a	40,461 〔粗収益 211,733〕 〔経営費 171,272〕	2,000時間

48

## 農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	果樹作（ハウスみかん＋露地みかん＋中晩柑）	地域類型	全域
モデルのポイント	高品質みかんの周年供給体制の導入による収益性の高いみかん経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 3名 臨時雇用 9,590時間 経営面積 680a （うち借入地150a） ハウスみかん 250a 早生みかん 100a 普通みかん 100a ハウス不知火 130a 露地不知火 100a	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設、露地栽培の組み合わせによる周年雇用の確保</li> <li>根域制限栽培の導入による露地みかんのブランド果安定生産</li> <li>土づくり等の基本管理の徹底による単収向上</li> </ul>	耐候性ハウス 250a 普通ハウス 130a 選果機 1式	40,838 〔粗収益 187,900〕 〔経営費 147,062〕	2,000時間

49

## 農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	花き作（トルコギキョウ）	地域類型	全域
モデルのポイント	トルコギキョウ専作大規模経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 6名 経営面積 195a （借入地なし） トルコギキョウ 195a	<ul style="list-style-type: none"> <li>養液土耕装置による肥培管理の自動化</li> <li>統合環境制御技術による高度な計画生産</li> <li>常時雇用導入による経営規模の拡大</li> <li>定植、防除作業の機械化</li> </ul>	普通ハウス 195a 育苗施設 1式 半自動定植機 1台	41,213 〔粗収益 120,375〕 〔経営費 79,162〕	2,000時間

50

## 農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	肉用牛経営（繁殖）	地域類型	全域
モデルのポイント	繁殖牛多頭飼養による大規模経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 1名 経営規模 繁殖雌牛 175頭  繁殖雌牛 175頭  稲わら収集 1,800a	<ul style="list-style-type: none"> <li>分娩間隔短縮による子牛生産率の向上</li> <li>ステージに応じた適切な飼養給与の実践</li> <li>飼養管理の徹底による事故率低減</li> <li>フリーバーン等を利用した省力管理</li> <li>キャトルステーション利用による省力化</li> <li>耕畜連携による良質粗飼料の確保</li> </ul>	トラクタ 50PS 1台 フロントローダー 1台 マニユアスプレッダー 1台 レーキ 1台 ロールオーバー 1台 ラッピングマシン 1台	39,585 粗収益 105,000 経営費 65,415	2,000時間

51

## 農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	肉用牛経営（肥育）	地域類型	全域
モデルのポイント	肉用牛専作による大規模経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 6名 臨時雇用 300時間 経営規模 肥育牛 1,000頭  肥育牛 1,000頭 稲わら収集 10,000a	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステージに応じた適切な飼養給与の実践</li> <li>飼養管理の徹底による事故率低減</li> <li>耕畜連携による稲わら等の確保</li> <li>自動給餌機などの導入による省力化</li> <li>肥育回転率の向上による出荷頭数増</li> </ul>	トラクタ 50PS 1台 フロントローダー 1台 マニユアスプレッダー 1台 レーキ 1台 ロールオーバー 1台 ラッピングマシン 1台	40,744 粗収益 1,200,000 経営費 1,159,256	2,000時間

52

## 農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	肉用牛経営（繁殖肥育一貫）	地域類型	全域
モデルのポイント	繁殖・肥育の一貫化による経営安定化やキャトルステーション利用による省力化に取り組む大規模な肉用牛一貫経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 3名 臨時雇用 2,310時間 経営規模 肥育牛 500頭 繁殖雌牛 95頭 飼料作物 300a (借入地なし) 肥育牛 500頭 繁殖雌牛 95頭 稲わら収集 6,000a 飼料作物 (夏・冬) 600a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステージに応じた適切な飼養給与の実践</li> <li>・飼養管理の徹底による事故率低減</li> <li>・分娩間隔短縮による子牛生産率の向上</li> <li>・キャトルステーション利用による省力化</li> <li>・耕畜連携による良質粗飼料の確保</li> <li>・フリーバーン等を利用した省力管理</li> </ul>	トラクタ 50PS 2台 フロントローダー 2台 マニユアスプレッダー 2台 レーキ 2台 ロールバレーター 2台 ラッピングマシン 2台	39,950 粗収益 657,000 交付金 1,050 経営費 618,100	2,000時間

53

## (参考) 農業経営モデル

営農類型	集落営農法人 米・麦・大豆＋露地野菜 経営面積350ha規模	地域類型	平坦部
モデルのポイント	共乾施設等を核とした土地利用型作物の効率的生産と収益向上のために園芸生産に取り組む広域集落営農法人経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 集落営農法人 組合員 140名 常雇用 100名 経営面積 35,000a 水稻うるち 18,200a 水稻もち 4,550a 大豆 12,250a 大麦 10,500a 小麦 10,500a たまねぎ 5,500a キャベツ 3,500a 苗床 200a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケールメリットを活かした運営コストの低減</li> <li>・作物・品種毎の団地化による作業の効率化</li> <li>・機械・施設の効率的利用による生産コストの低減</li> <li>・園芸作物の導入による所得向上</li> <li>・効率的な組織運営に向けた専従者（常雇用）の設定</li> <li>・地域内の雇用の場の創出</li> </ul>	トラクタ 75PS 14台 田植え機 10条乗用 11台 8条乗用 1台 6条乗用 1台 コンバイン 6条刈 7台 大豆コンバイン 2.1m刈 6台 半自動定植機 たまねぎ 1台 全自動定植機 キャベツ 1台 乗用管理機 1台 ベンチ育苗施設 1式	255,993 粗収益 1,017,271 交付金 195,252 経営費 956,530 組合員1名当たり 農業所得 1,829

54